

## 水産三者合同意見交換会

日 時 : 令和7年9月11日(木) 16:30～

場 所 : ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

出席者 : 熊本県議会水産振興議員連盟 14名

熊本県執行部 20名

熊本県漁連役員・部会長 19名

本県の水産業を取り巻く環境は、円安による漁業資材・燃油、配合飼料等の価格が昨年に引き続き高騰する中、赤潮による魚類養殖の被害や藻場が減少し漁船漁業の水揚げも減少するなど漁家経営を一段と圧迫しています。

一方、海苔養殖では、全国的に高水温と栄養塩が不足する不安定な海況の中で、本県は生産枚数 7.9 億枚と平年の約 95%と概ね平年作となりましたが、国内の供給不足を補うため、韓国・中国産海苔の輸入量が増加しており、将来的な国産海苔の位置付けについて危機感を持たざるを得ません。

赤潮においては、県議会並びに県知事、県の関係者、市町の皆様に国と連携し迅速に対応して頂いておりますが、今年もまた、赤潮の発生が確認されており被害が懸念されています。

このような危機的環境の中、県議会、熊本県、県漁連と毎年要望を通じて現状を共有しています。引き続き、本県が抱える漁業就業者の減少などの問題も含め、関係機関と連携し本県水産業の振興を図ることが重要と考えております。

今年度も当漁連を組織する第1部会から第6部会までの各部会から現状を打開するための要望を取りまとめ熊本県並びに熊本県水産振興議員連盟に要望書として提出し、要望内容について建設的かつ活発で有意義な意見交換を行いました。

【要望内容】

- ◇海苔養殖業等における調査研究・技術開発等について
- ◇魚類養殖における赤潮被害対策へ支援
- ◇漁場整備に関すること
- ◇漂流・漂着・海底ごみの回収・処分について
- ◇共同利用施設について
- ◇漁協経営に関する関連法改正に伴う研修会について
- ◇港内や航路の浚渫、堤防の修復と新設・延長
- ◇所有者不明放置船の迅速な処理

【主催者挨拶】



熊本県漁連 藤森会長

【来賓挨拶】



熊本県議会水産振興議員連盟 吉永会長



熊本県農林水産部 中島部長

【要望書提出】



熊本県議会水産振興議員連盟



熊本県知事(代理:中島部長)

【意見交換会】



